

事務事業名		高齢者乳酸飲料愛のひと声事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4843	一般	3	1	3	高齢者乳酸飲料愛のひと声事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和50年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者乳酸飲料愛のひと声事業要綱					
	実施方法		一部委託		事業分類		現金・現物給付事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		2-9				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
安否確認が必要な75歳以上でひとり暮らしの高齢者に乳酸飲料を配布。 週2回2本づつ必ず本人に手渡しにより配布することで、見守り・安否確認を行う。			安否確認が必要なひとり暮らし高齢者に乳酸飲料を配布した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			利用者数	人	438	424	440			
			利用本数	本	84,202	90,770	91,000			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
75歳以上のひとり暮らしで、安否確認が必要な高齢者。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			65歳以上高齢者数	人	31,140	32,923	34,706			
			一人暮らし高齢者数	人	3,982	4,213	4,444			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
配達の際の声かけにより安心した生活が送れる。			利用者数/一人暮らし高齢者	%	11.0	10.1	9.9			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した在宅生活をしてもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			在宅福祉サービス利用者数	人	1,526	6,934	7,000			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	3,095	3,921	4,200					
	事業費計(A)	千円	3,095	3,921	4,200	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			乳酸飲料給付費	3,095	乳酸飲料給付費	3,921	乳酸飲料給付費	4,200		
	人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	530	200	200						
人件費計(B)	千円	2,062	778	778	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,157	4,699	4,978	0	0				

事務事業名	高齢者乳酸飲料愛のひと声事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	----------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和50年にひとり暮らし高齢者の健康増進を図るために開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成16年度制度改正 65歳以上→75歳以上の高齢者安否確認が必要な者 週7本→週6本 平成19年度制度改正 週6本→週4本 平成22年度から緊急通報装置の貸与を受けている方は、本事業は利用できないこととした。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	この事業は一人暮らし高齢者の見守り、安否確認を行う事業として大切であるとともに、高齢者は話をするのを楽しみにして待っているため、緊急通報装置設置者も利用できるようにとの要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	この事業を通して、虚弱な高齢者に乳酸飲料を配付し、見守り、安否確認を行うことは、ひとり暮らし高齢者が安心して生活を送るために必要なものであり、その結果、できる限り住み慣れた在宅での生活を続けることになるため、意図することは結果に結びつく。	
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	安否確認が必要なひとり暮らし高齢者に対し、市の高齢者乳酸飲料愛のひと声事業要綱に基づき乳酸飲料を配付し見守り、安否確認を行うことは、老人福祉増進のため必要な事業であり、妥当である。乳酸飲料の配布は、両毛ヤクルト販売㈱に委託している。	
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	この事業は、75歳以上の閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者に対し、見守り、安否確認を目的に実施している事業なので対象と意図は合っている。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	事業のPRは、高齢者をはじめ民生委員やケアマネジャー等にも充分に行っており、必要な方にはすべて配布が行われており、安否確認につながっている。事業のやり方、進め方も現在の形になるまでには、何回かに分けて改善が図られてきており、今以上の成果向上の余地はない。	
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名		
	類似事務事業はない	理由・改善案		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	平成22年度は、緊急通報装置を設置している方は乳酸飲料愛のひと声事業は利用できないこととしたため、利用者が減り、事業費の削減を図ることができたが、これ以上には削減の余地はない。人件費についても、必要最小限の人数で対応しており、削減の余地はない。	
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	一人暮らし高齢者の見守り、安否確認のための事業であり、受益者負担を求める考えはない。	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	事業がなくなると事業者及び関係者による高齢者の安否確認の連携が図れなくなり、また高齢者の見守り、安否確認の機会が減ってしまうため、休止・廃止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			